

平成28年9月1日

会員各位

協会だよりー285(9月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第229回月例会（見学会）は来週開催です。

日時：9月9日（金）集合場所と時間・芸術劇場前（池袋西口）8：10

出発 8：30（予定）関越・所沢インター下車で石坂産業㈱さまへ

見学先：石坂産業㈱（埼玉県入間郡三芳町上富緑 1589-2）

見学時間 10：00～15：00（予定）

座学	10：00～11：00
施設見学	11：00～12：00
昼食	12：00～13：00
里山見学	13：00～14：00
総括	14：00～15：00



厚木国際 GC 越に大山を望む

- 一．協会よりのお知らせ
【実施済事項】
【予定事項】
- 二．事務局より（九月度の予定）
- 三．【雑学】町田市の境界を巡る7
（町田最高峰草戸山を巡る）

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー284（8月号）をメール&郵便で送信（7/29）
- ② 第34回 JSCRA 会（協会コンペ）のご案内（8/5）

③ 第229回月例会幹事会開催

日 時：8月10日(水) 16:00～17:00

場 所：協会事務局(新橋)

出 席：第229回月例幹事(日興リカ㈱・服部産業㈱・日誠金属㈱・安田薬品㈱・専務理事)。

議 題：第229回月例会(見学会)の準備及び検討。

④ 第230回月例会(一泊研修会(イトムカ))の栞と参加会費請求書送付(8/23)

⑤ 触媒工業協会・触媒資源化協会幹部交流会

日 時：8月30日(火) 18:00～20:00 場 所：JX 六本木クラブ(六本木)

出 席：両協会会長以下6名ずつの計12名出席

[予定事項]

① 第229回月例会(見学会)開催

日 時：9月9日(金) 10:00～15:00…石坂産業㈱(三芳町)

17:00～19:00…主婦会館プラザエフ(四ツ谷)

集合場所：JR 池袋駅西口・芸術劇場前 8:10

月例幹事：日興リカ㈱・服部産業㈱・日誠金属㈱・安田薬品㈱の4社

② 第3回運営委員会

日 時：9月21日(水) 16:00～17:00

場 所：堺化学工業㈱東京支店

出 席：運営委員・第229回月例幹事(日興リカ㈱・服部産業㈱)・第230回月例幹事(小島化学薬品㈱・中外鉱業㈱)

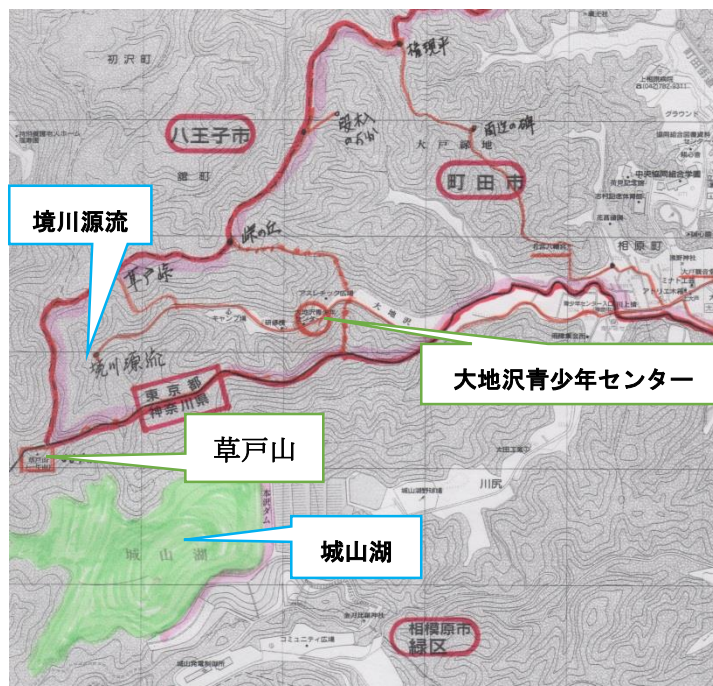
議 題：第229回月例会(見学会)の反省と第230回月例会(一泊研修会)の準備。

2. 事務局より(9月度の予定) 出勤予定：11日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
8/28	8/29	8/30	8/31	1	2	3
×	×	○	×	×	○	×
4	5	6	7	8	9	10
×	×	○	×	○	229月例	×
11	12	13	14	15	16	17
×	×	○	△	×	×	×
18	19	20	21	22	23	24
×	敬老の日	○	運営委員会	秋分の日	○	×
25	26	27	28	29	30	10/1
×	×	○	×	○	×	×

3.【雑学】町田市の境界を巡る7〈町田最高峰草戸山を巡る〉

町田市の最高峰は、市の西部にあり八王子市、相模原市に接する草戸山で、標高354mしかない。草戸山の西には高尾山側より海老名に向けて圏央道の長いトンネル〈圏央道自体は目には見えません〉が縦断している。200m～300mの低山のため、保育園児、幼稚園児や小学生達は、すいすいと登って行くが、トレーニング不足で且つ〈偶のゴルフしかやらない〉肥満・後期高齢者にとって息を切らしながらの登山の感想は、たかが364m、されど364mであった〈疲れた〉。



《行程》青少年センター入口・小仏層 ⇒ 大地沢青少年センター (WC) ⇒ 草戸山 (364m) ⇒ 草戸峠 (320m・高尾方面への分岐) ⇒ 大地沢方面へ下山・境川源流 ⇒ 大地沢青少年センター野外炊事場〈昼食〉・再度登山 ⇒ 段木の丘 ⇒ 権現平 ⇒ 雨乞いの碑 ⇒ 若宮八幡社 ⇒ 大戸観音堂〈解散〉

今回の行程は里を離れ低山ながら自然溢れる山岳コースである。前回は八木重吉記念館に寄り、公会堂前よりバスに乗車、相原で解散した。今回は相原よりバスに乗車し、公会堂前で下車、ハイキングの開始となる。町田街道を離れ、境川沿いに進む。途中、八木重吉一家の墓碑にお参り、48号線を横断し川沿いに大地沢青少年センターを目指す。行程説明はハイキングで資料



や、現地の説明板を参考とした。青少年センター入口の看板脇に鎮座する雨降地藏尊に別れを告げ、林間道（木道有り）センターに向う。



大地沢青少年センターへ向う林間道



小川のような境川

大地沢まで来ると、東京都と神奈川県（武蔵国と相模国）を隔てる、かの境川もまるで、ありきたりの小川のようにになってしまう。しかし一度洪水が起こると暴れ川にもなる〈現在上流は砂防ダムが建設されている〉。過去には大地沢の宿泊施設（キャビンやキャンプサイト・野外炊事場等）施設が、流石や流木で破壊され再建まで一年以上要したことも有ったのだ。

《小仏層》 青少年センター本館手前の道路脇に現われている地層である。解説版には「町田



層状で崩れやすい小仏層

市内で一番古い地層です。今からおよそ1億3500万年から7000万年ほど前の中世代白亜紀（恐竜時代）の頃に、海の堆積物によって出来たと考えられています。小仏層の名の由来は、明治の森と呼ばれる高尾山の西側に位置する小仏峠から取ったものです。泥岩や砂岩から変化したと言われる粘板岩、千枚岩、硬砂岩などから出来ています。小仏層は、関東山地の南部地域に分布している地層で、関東山地の東のへりと多摩丘陵とが接して入る所になります。」と説明がある。

日本列島全体が海底から隆起して出来たことが何となく判る。1億5000万年以上前の隆起だと、貝や生物の化石などは現われないそうである。

青少年センター本館に到着した我々は、センターのWC〈3階にある〉を拝借し、登山に備える。本館の中には、黄色や空色の帽子を被った保育園児の団がいたが、彼等とは草戸

山の頂上でまた会った仲間となった。



センター脇より、草戸山の登山道に入る。尾根に出るまで結構傾斜がきつい。常設のロープに掴まりながら何とか尾根道へ到着。

尾根道は東京都と神奈川県都県境であるためか、俺の領域だと主張しているように両方の標識杭が埋められている。尾根道に出たら楽勝と思っていたが、中々手強く草戸山までは10箇所位のこぶ道で上下を繰り返し一部はロープに掴まりながら、最後は階段道でやっと草戸山に到着した。ガイドでは32分と有るが45分くらいはかかったのでは？



草戸山の頂上自体はあまり展望の良い場所ではないが、3m程高い松見平休憩所に登ると南方向が見渡せる。はるか先は橋本方面か？手前の右に、一部護岸が見えるが城山湖の一部であろうか、樹木が邪魔になって見えないのが残念である。一息ついてくだりに入るが、小石の多い道で下山は神経を使う。草戸山より草戸峠へ向うが境界線は町田市と八王子市に変わる。両市とも東京都なので、都



県境の標識ではなく、市境の標識となる。草戸峠までは数回の急坂アップダウンを繰り返し 10 分ほどで到着する。この峠より北方の眺めは良く、高尾山の薬王院が望めるようだ。境川の源流を訪ねるためと青少年センターの野外炊事場で昼食を取る為、一度下山する。午後より再度、センターのアスレチック広場より峠の丘を目指して登山することになる。腹が一杯での山登りは体が重くて、これまた地獄であった。

ルート要検討！！

《境川源流地》



説明板によると「この沢より流れ出す水が、境川の源流です。流れは、多摩丘陵と相模台地区分する断層線上などを流れて、全長約 52km で片瀬西浜に注ぐ二級河川です」とある。二つの沢があり、メインの沢は水の流れ無し、サブの沢からはちょろちょろと湧き水が流れているようだ。天候に恵まれたハイキングでは、水の流れに出会えないかもしれない。

このあと青少年センターの野外炊事場で昼食を取る〈相変わらずのコンビにおにぎりですが〉。昼食のあと、再登山になる。峠の丘にて休憩する。東京都庁が見えるという。



尾根道の八王子側は拓殖大学の私有地らしく、「関係者以外立ち入り禁止」の立て札が有り、フェンスで囲まれている。こんな山奥まで広大なキャンパスとなっているようだ。

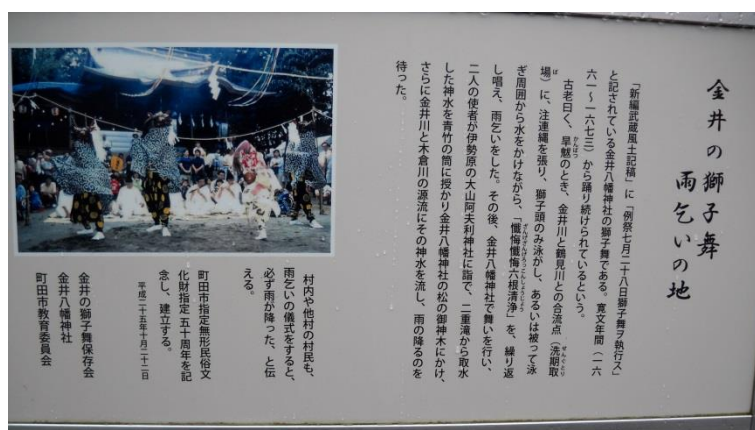
フェンスに沿って歩いているうちに段木入りの丘の分岐点に着く。段木入りの丘からは16号方面から八王子さらには新宿と広角的な展望が可能である。



分岐点まで戻り、境界線の尾根を権現平まで行き、境界線と分かれて雨乞いの碑へ向う。



ここは丑田山の山頂で、相原村では篝火を焚き、雨乞いの歌を歌い焚き火の周りを踊ったという伝説がある。金井村〈鶴川地区〉では金井川が鶴見川に合流する地点の中洲にて、獅子舞を踊って雨乞いをした石碑が鶴見川脇に建立されている。天に近い処と言えば山の上、



下流の村では河原になるのでしょうか？

《若宮八幡社》



昔大戸の吉沢出雲が一族の守護神として高良山(こうらさん)に勧請し、慶長10年(1605)創建した。寛文元年(1661)、宝永3年(1706)に改築された。



何十段かの石段や段差を下ると里に出る。一般道との境目に此方若宮八幡社、一般道を下ると大戸のバス停との標識がある。標識に従ってバス通りに出る。大戸のバス停の側には大戸観音堂がある。山門と一体の鐘楼門は九尺四方の総檜作りで「大戸の晩鐘」といわれ八王子八景といわれている。

何故八王子？八王子市山田雲津院(うんしんいん)末寺であるためか？

ハイキングは観音堂で解散となり、大戸より相原方面のバスに乗車する。このルートは一度、公会堂のバス停より法政大学多摩キャンパスに寄り道をしてまた公会堂のバス停まで戻るのである。前回訪問した法政大学をまた見学することになった。バス乗客の一番は、法政大学の学生と思われる。

JR 横浜線相原駅より帰途に着く。

次回の町田市の境界を巡る8. は6月17日〈金〉再度 JR 相原駅前に集合のようだ。今まで全コース、晴天で天候に恵まれている。次回はどうかだろうか？



記: 小林尚道